

氷都新時代！ 八戸国体

# 澤尻 攻めて3位

ヒロイン

成年女子1500

成年女子1500の澤尻里英（八学大）が3位に入り、李大会の青森県勢の表彰台1号となった。地元開催のプレッシャーに打ち勝ち、自身にとってもこの種目で初の表彰台。「最初から攻めると決めていた。積極的なレースできつうしい」とほつとした顔を見せた。

## 地元のエース 重圧はねのけ

スラでスピードを維持、後続が攻め上がるとタイミングで集団後方に戻って体力を温存。最後の直線勝負で前方の大半を無我夢中へ送った。予選後の主走は澤尻がかったが、周囲から「3位」を伝えられる胸をなで下ろした。

成年女子のエースとしての自覚から重圧も感じていたが、周囲の言葉が支えになった。大会前の新聞で県選手団団員の一人に言われた「プレッシャーとは関係なく、やることをやってみよう」と感じた。この「金」が「励みになった」と感謝した。レース前には船橋市監督に「気持ちが入っていない」と喝された。「肩に覚えがあった。もう怒られたいし、攻めなくて後悔するも嫌だった」と二層気を入れた。一番悔むところだ。

（金澤十徳也）





入賞を果たした選手たち。左から毛利信太郎、橋本芳彦、山本大史、澤尻磨里英、前中香澄、下村璃々

## 前中8位 悔しさも

成年女子1500

○：成年女子1500m決勝で前中香澄（八学大）は8位。「レース展開への対応が全然できていなかったと悔しさを隠さず、内側から『番目』という好位置からのスタート。「行けるかも」と期待したが、「他の選手が速く、いい位置につけられなかった。後方から先頭に上がるチャンスがなかったが中盤に集団が崩れ、位置を上げるタイミングを逸した。シングルトラック特有の駆け引きに苦しんだが、「澤尻」先輩と一緒に決勝に出られてうれしかった。経験を積んで勉強したい」と前を向いた。

## 「ベスト尽くした」少年女子2000リレー



【少年女子2000mリレー1組】青森は1走高山梨子（左から2人目）から2走宮下和奏（右）にバトンをつなぐ

○：少年女子2000mリレー予選で青森は3位となり、B決勝（5〜8位決定戦）に回った。3位でバトンを受けた2走宮下和奏（八学光星高）が1つ順位を上げたが、アンカー下村璃々（八学西高）はコース五輪代表でもある岩手のアンカー・吉田雪乃（盛岡土高）の猛追を受け、残り300mほどでかわさ

## 成年女子2000リレー

### 「決勝で全力を」

○：成年女子2000mリレーで青森がA決勝（1〜4位決定戦）に進出。予選では1走前中香澄（八学カ）と鬼頭奏音（八学大）が選

れた。上位チームが進めるが、「ベストは尽くした」スでミスがないよう心掛

伸びのある滑りで前を行く山形をかわし、2位に滑り込んだ。

前回は同種目で5位だった青森。鬼頭は、バスの連係は練習通りにできていた。決勝では全力を出し切り、少しでも順位を上げた